

計測データを用いた形状モデリング技術

#形状モデリング

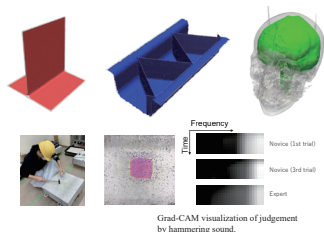
#画像処理

#リバースエンジニアリング

#形態解析

研究
内容

実世界に存在する対象の形のデジタルツインモデルを構築するために、CT スキャナ、レーザースキャナ、顕微鏡などから得られる画像や点群データを計算機上で処理するための研究を推進しています。鉄鋼材料の構造組織や細胞といったミクロのものから人体、土木構造物のようなマクロなものまで様々な対象のデータを扱っています。得られたデジタルデータは、形態解析など実物を定量的に評価するために利用しています。最近は、インフラ点検技術の伝承を目的としたデータ解析にも取り組んでいます。



Develop+

応用分野

医療・ヘルスケア分野、製造業、インフラ管理



道川 隆士 MICHIKAWA Takashi

環境エネルギー工学専攻 准教授

共生環境デザイン学講座 環境設計情報学領域
福田研究室



論文・解説など

- [1] T. Michikawa et al., Computer Aided Design 45(4) 822-828, 2013
- [2] T. Michikawa et al., PLoS ONE 12(4) e0168516, 2017
- [3] 道川他, 土木学会論文誌 80(22) 23-22018, 2024

連絡先HP

